

ページ番号

- 1. 概要..... 2
- 2. ページ変数オブジェクト..... 3
 - 2-1. オブジェクト概要 3
 - 2-2. 書式を変更する 4
- 3. マルチフォームでの制御..... 5
 - 3-1. 実行オプション 5
 - 3-2. マルチフォーム帳票 6
 - 3-3. セット帳票 7
- 4. 表オブジェクトでの制御..... 8
 - 4-1. 表連携設定によるページ番号のリセット 8

1. 概要

Create!Form では帳票上にページ番号を出力することができます。

図：ページ番号

3 / 235

	電話番号
18	03-3725-1140

ページ番号を出力するためのオブジェクトとして「ページ変数オブジェクト」が用意されています。

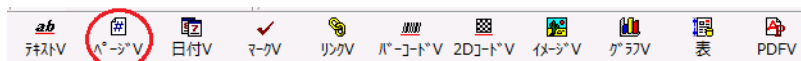
2. ページ変数オブジェクト

2-1. オブジェクト概要

ページ変数オブジェクトは、ページ番号を帳票上に出力するオブジェクトです。
ページ変数オブジェクトを帳票上に配置すると、全てのページにページ変数オブジェクトが出力されます。

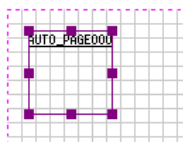
Formエディター画面上でページ変数オブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクトツールバーにある「ページ変数」アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ&ドロップして配置します。

図：「ページ変数」アイコン



ページ番号はテキストとして描画されます。
そのため、プロパティ画面では、フォントや文字間隔といったテキストデータとしての設定を行うことができます。

図：ページ変数オブジェクト



図：プロパティ

ページ変数

オブジェクト番号: 073 記述: VPage

変数名: AUTO_PAGE002

[属性] [編集] [位置] [表連携] 条件設定...

フォント: MS 明朝 ☐ 太字 サンプル文字: AaBbCcYyZz123

サイズ: 10.000 色: [黒] 選択...

文字間隔: 0.000 位置合わせ: 左 上

表示データ: ☐ 総ページ数 ☒ 現在ページ番号 ☐ 開始ページ番号: 1

適用 OK キャンセル

「フォント」「サイズ」「文字間隔」「色」「位置合わせ」の設定内容についてはマネージャーのメニュー「ヘルプ」-「オンラインマニュアル」から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「固定テキスト/テキスト変数」をご覧ください。

〔表示データ〕では次の2つの出力形式を選択できます。

〔総ページ数〕

帳票全体のページ数を全てのページに出力します。

〔現在ページ数〕

ページ番号を出力します。

この2つの形式を組み合わせることで、ページ変数オブジェクトを2つ用いて「1 / 30」のように「ページ番号 / 総ページ数」といった出力が実現できます。

通常、ページ番号は「1」から始まり、1ずつ増加していきます。

「1」以外の番号からページ番号を開始させる場合は、〔開始ページ番号〕のチェックを有効にして入力欄に番号を指定します。

2-2. 書式を変更する

ページ変数オブジェクトの場合、ページ番号を加工して出力することができます。

たとえば、「- 1 -」のように「-」で囲んだ形式で出力させるようなことができます。

このようなデータの加工・書式指定は「データ編集」という機能で実現できます。

データ編集機能の詳細についてはマネージャーのメニュー〔ヘルプ〕-〔オンラインマニュアル〕から「3. 機能リファレンス」-「3.4 集計値の表示とデータ編集」-「データ編集」をご覧ください。

3. マルチフォームでの制御

3-1. 実行オプション

通常、ページ変数オブジェクトは出力帳票全体における現在ページ番号、もしくは総ページ数の表示を行います。次に説明する実行オプションを用いることによりマルチフォーム出力やセット出力に対応したページデータを出力することができます。出力のイメージについては後述の『ページ変数データの出力イメージ』を参照してください。

マルチフォーム機能についてはマネージャーのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.5 改ページとフォームの切り替え」-「マルチフォーム」をご覧ください。

セット帳票機能についてはマネージャーのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.5 改ページとフォームの切り替え」-「セット帳票」をご覧ください。

ページ変数専用実行オプション

Windows 版、UNIX 版共通

オプション 説明

- pr1 : マルチフォーム出力の際、表示形式を [現在ページ番号] に設定している場合
 ユニットの切り替え毎にページ番号がリセットされます。[総ページ数] に設定している場合はユニット単位での総ページ数が出力されます。
- pr2 : セット出力の際、表示形式を [現在ページ番号] に設定している場合セットの
 終了毎にページ番号がリセットされます。[総ページ数] に設定している場合はセット単位での総ページ数が出力されます。

例：マルチフォーム出力時にユニット毎にページデータを切り替える場合

```
ccast -Dwdir1 -smform.sty -pr1 -omform.pdf mform.txt
```

3-2. マルチフォーム帳票

ページ変数の設定、および実行オプションの使用による出力パターンの例を示します。
 “A”、“B”、“C” はそれぞれ異なるフォームによる出力を表しています。出力イメージ内の数値はページ変数によって出力されたページデータを表しています。

①現在ページ番号表示（実行オプションなし）

A	A	B	B	B
1	2	3	4	5

②総ページ数表示（実行オプションなし）

A	A	B	B	B
5	5	5	5	5

③現在ページ番号表示（-pr1 オプション指定時）

A	A	B	B	B
1	2	1	2	3

④総ページ数表示（-pr1 オプション指定時）

A	A	B	B	B
2	2	3	3	3

⑨現在ページ番号表示（実行オプションなし。フォーム B のページ変数には開始ページ番号に '101' を設定）

A	A	B	B	B
1	2	101	102	103

3-3. セット帳票

⑤現在ページ番号表示（実行オプションなし）

A	B	C	A	B	C
1	2	3	4	5	6

⑥総ページ数表示（実行オプションなし）

A	B	C	A	B	C
6	6	6	6	6	6

⑦現在ページ番号表示（-pr2 オプション指定時）

A	B	C	A	B	C
1	2	3	1	2	3

⑧総ページ数表示（-pr2 オプション指定時）

A	B	C	A	B	C
3	3	3	3	3	3

4. 表オブジェクトでの制御

4-1. 表連携設定によるページ番号のリセット

表オブジェクトが配置されている帳票では、表連携オブジェクトに設定したテキスト変数のキーブレイク単位でページ番号をリセットして表示することができます。

設定は以下の手順で行います。

- 1) テキスト変数オブジェクトのプロパティ「表連携」タブから「表連携出力設定」を有効に設定し、「繰り返し帳票のヘッダー」を選択して「キーにする」を有効にします。
- 2) ページ変数オブジェクトのプロパティ「表連携」タブから「ページ番号を表連携のキーブレイク単位で表示」を有効にします。

図：ページ変数オブジェクト - プロパティ [表連携]

この設定により、表連携に設定したページ変数オブジェクトの出力は、テキスト変数オブジェクトの値がブレイクするタイミングで指定した初期値にリセットされます。そのため、例えば複数の宛先の請求書を1ジョブで出力するときに、1つの宛先単位での現在ページ番号や総ページ数を出力することができます。

テキスト変数オブジェクトの表連携設定については、マネージャーのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「表オブジェクト (表組)」をご覧ください。

<< 注意 >>

ページ変数オブジェクトを表連携に設定した場合、Form ファイル上に定義した全てのページ変数オブジェクトで表連携の設定が有効となります。

1ジョブを通しての現在ページ番号と総ページ数、キーブレイク単位での現在ページ番号と総ページ数を同時に出力することはできませんのでご注意ください。

Create!Form 12

ページ番号 第 2 版

発行日	2024 年 8 月
発行者	インフォテック株式会社